



農家とお客さんが顔を合わせる直売所



野菜の特徴を
教えてくれた萩原さん

野菜を食べる時、ふと誰が作っているのか気になったことはありませんか？ 今回取材した上尾市農産物直売所は、昭和50（1975）年に36人のメンバーで始めました。現在は6軒の農家の皆さんが4班制で、直売所を切り盛りしています。そのうちの1軒で、組合長である國島さんにお話を伺いました。

組合として直売所を開くことで、生産性が上がったりと、利益が向上することを目的に直売所での活動を始めたとい

う國島さん。直売所では1日ごとに担当の農家が違います。お客さんは、朝採れたばかりの新鮮で多品種の野菜や果物、添加物が一切入っていない漬物、時には通常より大きい農産物も買うことができます。農家の人と直接「顔」を合わせてやり取りができることよって、「今日は○○さん家だから行こう」とわざわざ他市から訪れる常連さんもいるそうです。「作っている人が分かると、お客さんも安心して買えるんじゃないですかね。卸しちゃうとお客さんとなつながらないから」と國島さんは話します。

現在、1日に100人ほどのお客さんが訪れる直売所ですが、ここに若い世代の農家とお客さんが集まり「顔」を合わせる機会が増えれば、さらなる直売所の活性化にもつながっていくでしょう。『広報あげお』の読者に向けて、「新鮮な野菜と果物を売っているので買いに来てもらいたい」「若い人にも来てもらえるとうれしいし、やりがいを感じるとよね」と國島さんは話していました。

直売所では、キュウリやトマトなどの一般的な野菜だけではなく、スーパーではあまり見かけない空芯菜や白ナスなどの珍しい野菜も売りに出されるがあります。見慣れない白ナスについて、國島さんと同じ班の萩原さんは、どういった食感で、どんな料理に使えるかを教えてくれました。

皆さんもぜひ、農家さんの「顔」を知ることができるところを訪れて、地元で採れた野菜を食べてみてください。

農家さんの「顔」が見える

地域密着、身近な話題を体験取材!

まちかど

特派員だより



上平地区
関口 侑太郎さん

市民の情報交流スポット



おいでください

■民踊つくし会初心者教室 9月8・15・29日、10月20・27日のいずれも(土)13:30～15:00(全5回)、中央小学校 費500円 旨日 渡辺☎781-3208(17:00以降)
ひと言! アッピー音頭、他に新曲も入れて、皆で楽しく踊ります。

■終活講座～一緒に学びませんか～ 9月21日(金)10:30～11:30、文化センター 定20人 費200円 旨日 小杉☎781-7508
ひと言! 高齢者の心配ごとへの備えをお話しさせていただきます。

■第30回記念上尾マジッククラブ発表会 9月30日(日)13:00～15:00、コミュニティセンター 旨日 野原☎781-1197
ひと言! 不思議で楽しいマジックをご覧ください。お気軽にどうぞ。

■混声合唱団ひびき 第6回定期演奏会 9月30日(日)14:00～16:00、響の森桶川市民ホール 定700人 費1,000円 旨日 橋本☎775-8864
ひと言! 美しいハーモニーと歌の心を大切に歌います。

■聖学院大学創立記念音楽会 10月27日(土)14:00～16:30、聖学院大学チャペル 定300人 旨日10月5日(金)までに往復はがきで、聖学院キリスト教センターへ 聖学院キリスト教センター☎725-5495(17:00まで)
ひと言! 申し込み方法は聖学院大学ホームページをご確認下さい。

いきいきサークル

●橋ダンス愛好会(社交ダンス) 毎週(土)10:00～12:00、平方公民館 費月額1,500円(入会金1,000円) 波田野☎080-5460-2089
ひと言! 基本から指導。初心者歓迎。女性歓迎。一度見学を。

●上尾博柳会(川柳) 毎月第3(木)13:00～17:00、平方公民館 費月額1,000円 佐藤☎774-6127(22:00まで)
ひと言! 生活の中の喜怒哀楽を5・7・5の音で詠ん

でみましょう。

●アメリカントールペイント「幸せ色」 毎月2回(火)9:00～12:00、コミュニティセンター 費1回1,500円(入会金1,000円) 福島☎090-2919-3648
ひと言! 初心者から経験者まで気楽にトールを楽しむ集まりです。

●レディース囲碁「コスモス」 毎週(火)13:00～16:00、上尾公民館 費月額1,000円 松林☎722-5183
ひと言! 囲碁を楽しみましょう。どなたでも歓迎です。初心者歓迎。

●泉心流 いずみ吟詠会 毎月第1・3(月)10:00～12:00、上平公民館 費月額2,000円(維持費 月額500円) 宮沢☎771-1915
ひと言! 心肺を丈夫にし、五体を若返らせる声の武道! ご一緒に。

●上尾畔吉クラブ 毎週(月)10:00～13:00、上平公園 旨女性 費月額2,000円(入会金2,000円) 渋谷☎771-7305(13:00以降)
ひと言! ソフトテニスを通じて皆で健康維持に励んでいます。

定…定員 対…対象 費…費用 持…持ち物 旨日…当日、直接会場へ 申…申し込み

スポット ライト

～人・仲間～



よしだ
吉田

ともき
智樹君

(緑丘在住)

The life of a great person

中学2年生でプロ棋士となった藤井聡太七段の活躍で、幅広い世代から注目を集めている将棋。中央小学校3年の吉田智樹君は、5月に行われた埼玉県大会で優勝し、来年1月5日に岡山県倉敷市で開催される「大山名人杯争奪 第17回全国小学生倉敷王将戦」低学年の部に出場します。この大会は2011年に藤井聡太七段も優勝したことのある大会で、将棋の小学生日本一に挑戦することになります。

吉田君は、将棋が趣味の祖父と父の影響で、幼稚園の年中の時に将棋を始めました。将棋のセンスが良く、上達が早かったそうです。現在は、市内の将棋教室や道場にそれぞれ週1回、千駄ヶ谷の将棋会館や新宿の将棋センターにも月に何回か通い、同世代の子どものだけではなく、大人とも対局しています。時には、携帯の将棋ゲームでコンピュータ相手にも対局するなど、さまざまな方法で将棋の腕を磨いています。

将棋以外にも、アニメやサッカー、テニスも好きだという吉田君ですが、「一

真剣なまなざしで将棋を指す吉田君

小学生日本一への挑戦

「大山名人杯争奪 第17回全国小学生倉敷王将戦」低学年の部への出場決定

番好きなのは、将棋」と笑顔。将棋の魅力は「年齢に関係なく、誰とでも勝負ができること。体力勝負では勝てない大人にも、将棋なら勝つことができる。今では、祖父や父よりも強いです」とうれしそうに話します。

これまでもいろいろな大会で優秀な成績を収めています。全国大会は初出場。県大会直前には、公園で転倒し、左手を骨折するアクシデントもありましたが、将棋を指す大事な右手は無傷であった幸運に、家族は「神様が味方してくれたね」と笑ったそうです。全国大会への出場が決まった時の気持ちを尋ねると「学校で、先生や友達に『おめでとう、頑張ってるね』とたくさん応援してもらって、とてもうれしかった。ベスト4を目指して全力で頑張りたい」と大会への意気込みを語ります。

今後の目標については「来年は、都内の将棋会館に一人で電車に乗っていけるようになりたい」という子どもらしい目標から、「ずっと将棋を続けて、いつかプロ棋士になりたい」という大きな目標まで、照れながらも力強く話してくれた吉田君。かつて一緒に写真を撮ってもらったことがあるという上尾出身の金井恒太六段に続く、プロ棋士誕生に期待しましょう。



「クイズ アッピーを探そう！」(2ページ参照)で寄せられた『広報あげお』への感想・意見を紹介します。今月は8月号です。

⇒ 広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873 ※内容は一部要約しています。



表紙 平方祇園祭の どろいんきよ行事

- 泥まみれになって神輿などを担ぐ姿から、暑さに負けず頑張っている様子が伝わってきました。(20代男性)
- 水しびきが激しく、躍動感のある素敵な写真だと思いました。来年は、間近で見たいと思います。(40代女性)

全国でも有数のとても珍しい祭りです。今度ぜひ出掛けてみてください。



上尾歴史散歩 上尾高校の誕生

- ことしの夏は惜しくも甲子園出場はなりませんでした。歴史散歩の甲子園初出場時の壮行会の写真を懐かしく見ました。また甲子園に出場できるよう応援しています。(60代女性)
- 市と同じ頃に誕生したんですね。これからも上尾高校の活躍で、上尾の名を全国に広めてほしいです。(40代男性)

上尾市と同じ歳の上尾高校に負けられないように頑張ります。



「広報あげお」は、読者の皆さんの感想を参考にし、より良い誌面作りを目指しています。これからも皆さんの感想をお寄せください。